

屋外設置形 ガス給湯器

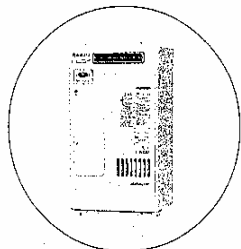
取扱説明書

| | | |
|-----|-----------|--------------------------|
| 品名 | 135-T960型 | (マルチコントロール) 138-T400型 |
| 型式名 | GS-320GW | MC-08 |

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

このガス給湯器には保証書が付いています。
内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご益になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
その際、機器本体のコードラベルと銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



大阪ガス

もくじ

| | ページ |
|-------------------------------|-----|
| 製品の特長 | 1 |
| 安全に正しくお使いいただくために | 1 |
| この取扱説明書の表示について | |
| 機器本体の表示について | |
| 必ずお守りください | 2 |
| 各部の名称とはたらき | 7 |
| ご利用前の準備 | 11 |
| メインリモコン〔138-T401型〕の現在時刻の合わせかた | 11 |
| お湯を使う | 12 |
| 操作の基本 | 12 |
| 優先の切替えについて | 13 |
| 給湯温度の調節 | 14 |
| プログラム運転を使う | 15 |
| プログラム運転について | 15 |
| プログラム時刻の合わせかた | 15 |
| プログラム運転のしかた | 17 |
| 循環回路制御について | 18 |
| 冬期の凍結予防をするには | 19 |
| 点検のポイント・お手入れのしかた | 23 |
| 点検のポイント | 23 |
| お手入れのしかた | 23 |
| 定期点検のおすすめ(有料) | 23 |
| 給水口フィルターの掃除 | 24 |
| 点検・お手入れ後の確認 | 24 |
| 故障かな?と思ったら | 25 |
| お湯の出かた | 25 |
| 機器本体 | 26 |
| リモコン | 27 |
| リモコンのアラーム番号が出たとき | 28 |
| アフターサービスについて | 29 |
| 仕様 | 30 |

お使いいただくまえに

使いかた

長くお使いいただくために

製品の特長

- お使いになる湯温や、湯量に応じてガス量を自動調節します。
- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。
- 別売品のメインリモコン(138-T401型)、サブリモコン(038-0208型)、防湿形サブリモコン(038-0209型)を取付けている場合、給湯温度は37～75℃の間で、16段階に調節できます。
またメインリモコン(138-T401型)を取付けている場合に限り、施工時に、37～80℃の間で16段階の調節ができる設定(高温対応)にすることも可能です。(→P.14参照)
- 1台だけでなく、2台から20台までのマルチ設置が可能です。(最大660号)
- この機器は従来品と比べ、熱効率が約15%高くなっており、ガスをより効果的にお使いになれます。また環境面でもCO₂削減に貢献します。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

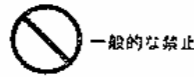
危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示については

次のような意味があります■



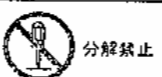
一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



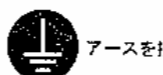
分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜く



アースを接続せよ

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX参照)

参照ページを示しています。

■機器本体の表示について■

やけど注意

- 排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

コードラベル

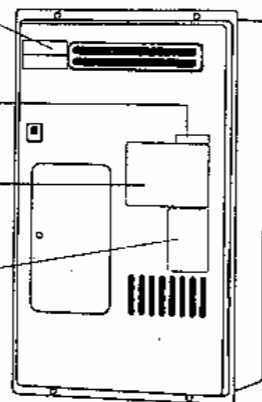
- 品名を表示しています。

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。

銘板

- 型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

危険

屋内設置の禁止

- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



禁止



屋内

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
 - ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
 - ③お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。
 - すべての処置が終るまでの間絶対に、
 - ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

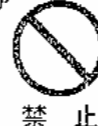


火気禁止

警告

機器設置(および付帯工事)

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。
- この機器は屋外設置形なので、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

囲い禁止

- 設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

- 給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

機器の銘板を確認

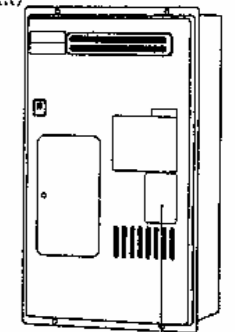
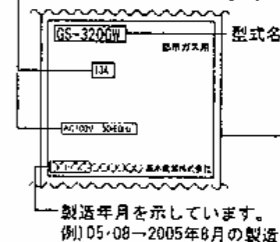
- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火によるやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P.29参照)



ガス種・電源を確認

(例)都市ガス13Aの場合

この部分を必ずご確認ください。



お子様には十分な注意を

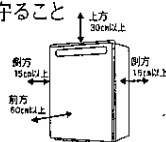
- 浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。



必ずお守りください

警告

火災予防のために必ず守ること
機器の周辺は常に
図の離隔距離を確
保する。



- 機器および排気口の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



禁止



給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- ①シャワーなどお湯を使う場合は最初にお湯が出るがあるので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ②給湯使用時は出湯管(蛇口)が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、夏期などで水温が高くなっているとき、あるいは万一機器が故障した場合には、熱いお湯が出るがあるので注意する。手のひらで温度を確かめて、湯温が安定してからお使いください。
- ④シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。
- ⑤浴槽に入るときは、手でお湯の温度を確認して入浴する。確認をおこたると、やけどのおそれがあります。



手で温度を確かめる



機器本体でのやけどに注意

●機器の使用前または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。



接触禁止



地震・火災など緊急時の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書のP.25～P.28「故障かな?と思ったら」に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる



分解禁止

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。



分解禁止

注意

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。電源プラグにほこりがたまることで、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や過剰配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



禁止



お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。



電気事故防止

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続する

用途についての注意

- 台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

配管カバー(または据置台)についての注意

- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかり閉める。思わぬ事故の原因となります。(→P.24 参照)

リモコンの扱いについて

- リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 防湿形サブリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。メインリモコン、サブリモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいらずに注意してください。



分解禁止



断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。
- 断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまっている場合があります。

必ずお守りください

お願い

通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電した後や電源プラグをコンセントへ差し込んだ後、リモコンの表示を確認し、設定が必要なときは、各設定(給湯温度・現在時刻など)を行ったのちご使用ください。



雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



電源プラグを抜く



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電スイッチが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.19「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります(有料)。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.21「再使用する」ときの項以下の操作を行ってください。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P.20の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください。(詳しくはP.23をご覧ください)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。
- 燃焼中にドレン口から、スムーズに排水されているか点検してください。ゴミ等によって閉塞されないよう定期的に掃除してください。

お願い

機器の設置の確認

- この機器は高効率のため、強酸性のドレン水が排出されます。そのドレン水を中性(中和)にするために中和器を通して排出します。必ず付属の中和器を施工時に機器へ取り付けてください。中和器を取りつけないとドレン水により建物の外壁や排水配管等を腐食させることがあります。

設置場所について

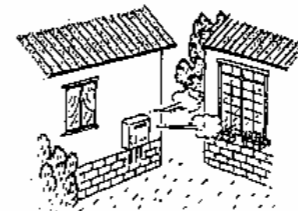
- 設置場所をお決めになるときは、近隣の家が運転音(燃焼音、燃焼ファン、ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが滞留しないようにしてください。機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するためです。

排気ガス

- 増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。



禁止



塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

給排気について

- 機器は給排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。
- この機器は従来の給湯器に比べて熱効率が高いため、排気口から白煙が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。地下水や温泉水、井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

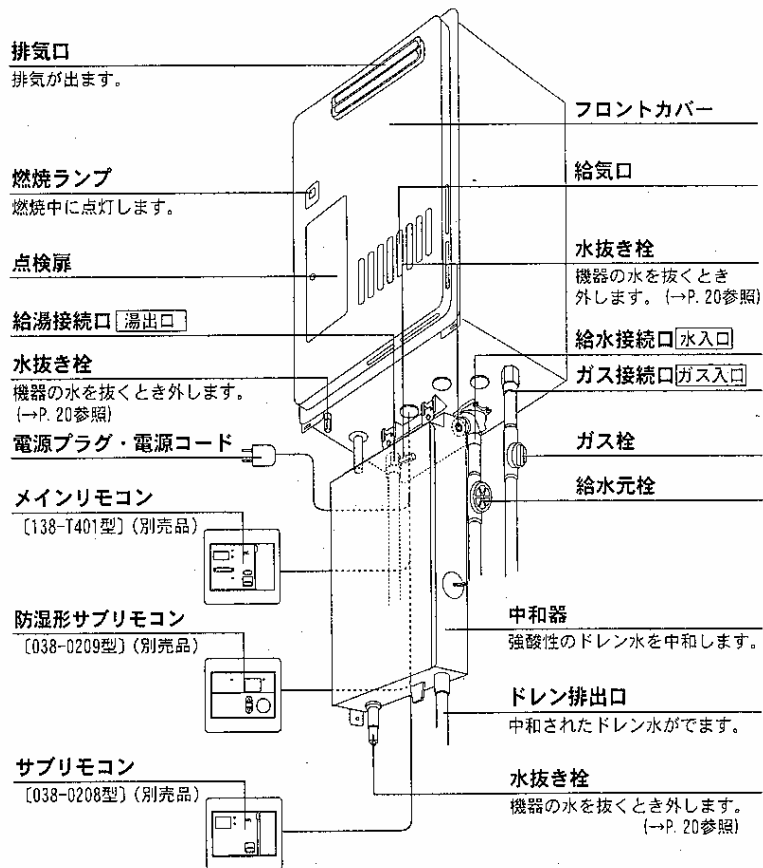
- 砂や油煙、ペットの毛などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。(厨房の排気ダクトの近くは油煙による不具合の原因となります)

乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

各部の名称とはたらき

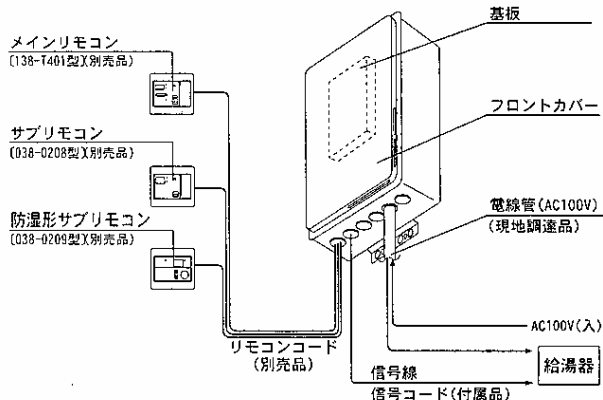
■機器本体



この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

■マルチコントローラ〔138-T400型〕(別売品)

マルチコントローラ本体

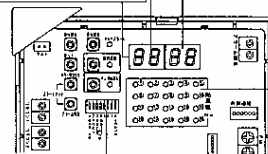


複数台設置には、マルチコントローラおよびリモコンを取り付けて、使用してください。
※リモコンは、上記3種類のうち異なる2つのリモコンまで、同時取り付け可能。

基板

アラーム発生時にアラーム番号やメンテナンス時にデータを表示します。

通常は、表示されません。
アラーム発生時には、以下の表示をします。
アラーム番号を表示します。(→P. 28参照)
給湯器番号を表示します。
※メンテナンスモード時は、メンテナンスステータスを表示します。



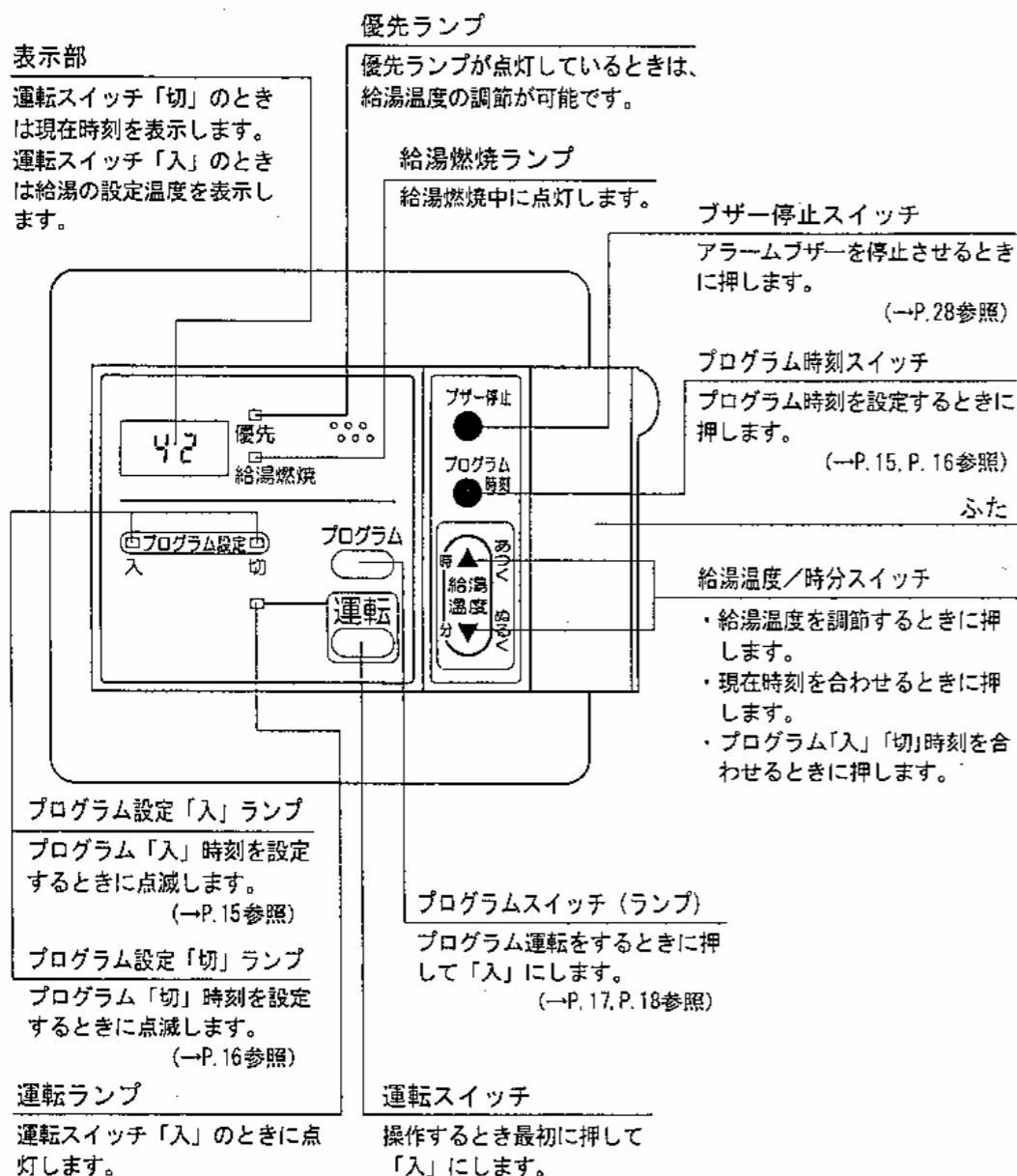
バーコン表示ランプ
接続されている給湯器の番号を示すランプが点灯します。
アラーム発生時、アラームになった給湯器番号を示すランプが点滅します。

切替スイッチ

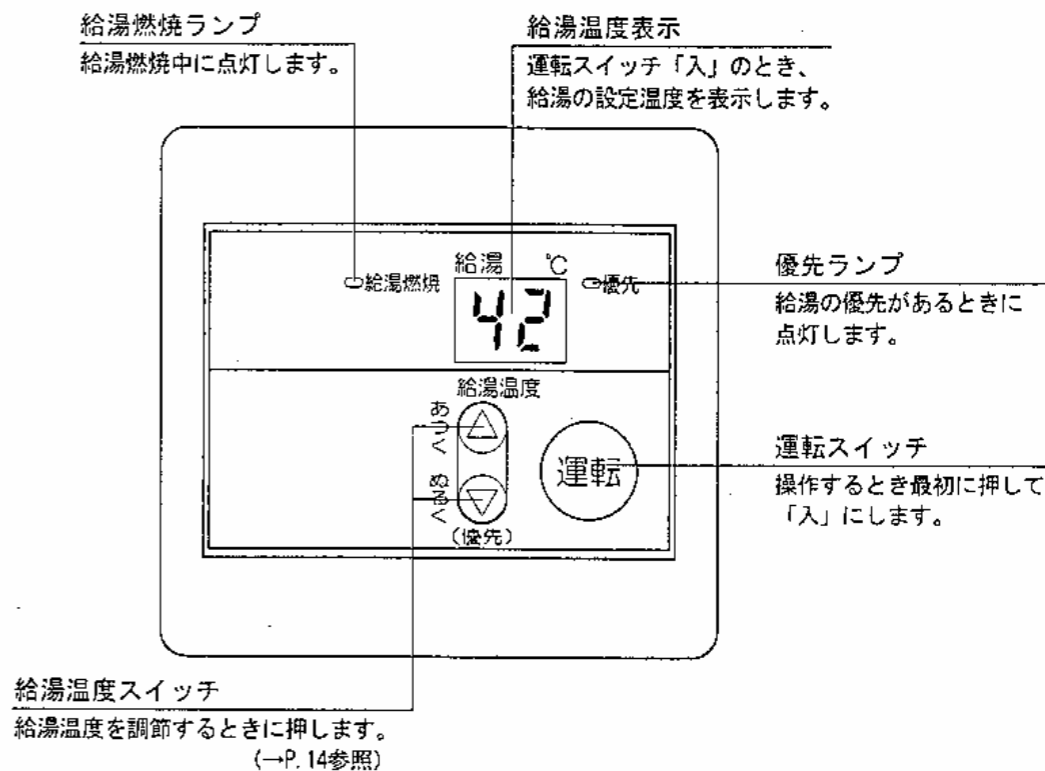
- 「優先機2台」スイッチ
常時多量のお湯(10ℓ/min以上)を使用する場合は、このスイッチを「ON」にしてください。最小燃焼台数が2台になります。
- 「HEATS」スイッチ
このスイッチを「ON」にすると、循環ポンプ2台を負荷に応じた台数で制御できます。

各部の名称とはたらき

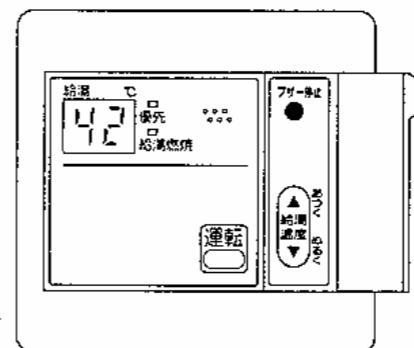
■メインリモコン [138-T401型] (別売品)



■防湿形サブリモコン [038-0209型] (別売品)



■サブリモコン [038-0208型] (別売品)



メインリモコン、防湿形サブリモコンの付いている所以外から、運転スイッチの「入」・「切」、給湯温度の調節、ブザー停止ができます。各部のはたらき、使用方法は、メインリモコン [138-T401型] と同じですが、プログラム運転設定及び時計表示はできません。

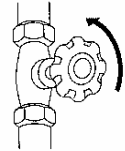
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

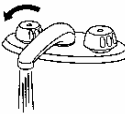
■機器の準備

1 この取扱説明書のP.23の内容に従って、機器や機器周辺の点検を行います。

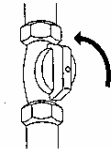
2 給水元栓を全開にします。
機器の下にあります。



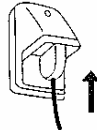
3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。



4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



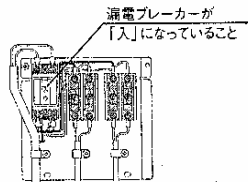
5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



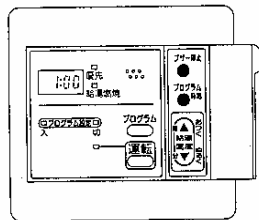
マルチコントローラ (138-T400型) を取付けている場合

マルチコントローラに電源 (AC100V) が供給されていることを確認してください。

・マルチコントローラのフロントカバーを開け、漏電ブレーカーが「入」になっているか確認。

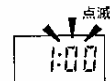


メインリモコン [138-T401型] の現在時刻の合わせかた



設定した現在時刻は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、電源プラグを約50分以上抜いたままにしたとき、また約50分以上停電したときは1:00に切り替わります。再度設定してください。

①時/分スイッチを同時に押す。



・時刻表示が点滅します。

②時スイッチを押して時の位を合わせる。



・時間の表示は24時間表示です。(0:00~23:59)
(例) 10:10に設定

③分スイッチを押して分の位を合わせる。



・時刻合わせ後約10秒で時刻表示が点滅から点灯にかわり、設定終了となります。

●スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

お湯を使う

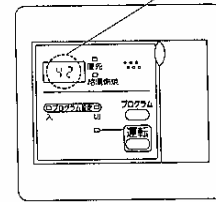
■操作の基本

リモコンのスイッチをONにして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

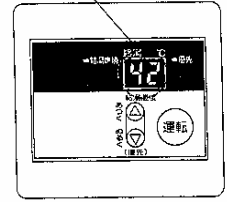
1 メインリモコンまたは防湿形サブリモコンに給湯温度が表示されているか確認します。

給湯温度を確認

表示されていないときは、運転スイッチを押す。



【メインリモコン】



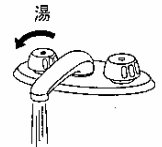
【防湿形サブリモコン】

2 給湯栓を開けます。
しばらくしてお湯が出ます。

給湯燃焼ランプが点灯

給湯燃焼ランプが点灯します。
はじめてお使いになるときの給湯温度は42℃に設定されています。

(図はメインリモコンを表す)



給湯栓を閉じ、お湯を止めます。

お湯が止まると、給湯燃焼ランプが消灯します。
(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません)



警告 ●給湯、シャワー等を使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。




●ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 従来の給湯器に比べて熱効率が高いため、排気口から白煙が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
- 水温が30℃近くなる夏季では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

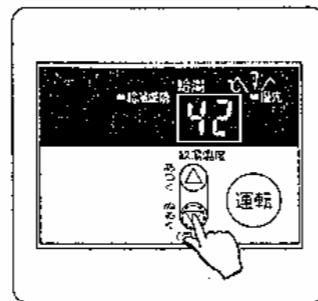
お湯を使う

■優先の切替えについて
メインリモコンの給湯温度で浴室のシャワーを使うと熱い場合があります。給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。シャワーを使うときは、浴室の防湿形サブリモコンを優先にし、防湿形サブリモコンで設定した湯温でシャワーを使えます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

■優先を切替える

1 メインリモコンが優先のときに防湿形サブリモコンを優先にするには防湿形サブリモコンの  スイッチを押します。

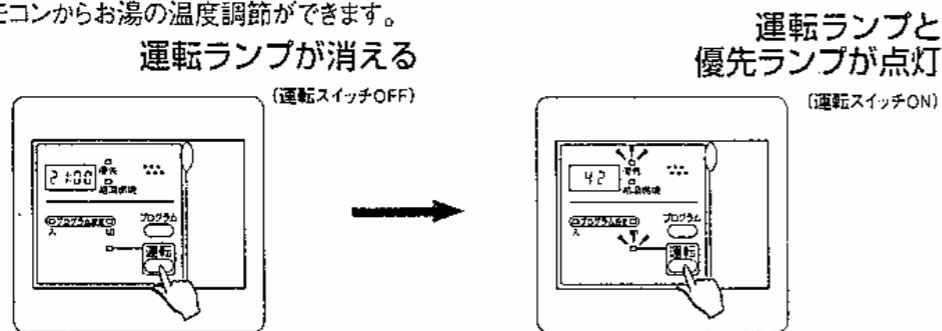
防湿形サブリモコンに優先ランプが点灯します。
防湿形サブリモコンが優先となり、
防湿形サブリモコンからお湯の温度調節ができます。



〔防湿形サブリモコン〕

2 防湿形サブリモコンが優先のときにメインリモコンを優先にするにはメインリモコンの運転スイッチをOFFにして再度ONにします。

メインリモコンに優先ランプが点灯します。
メインリモコンが優先となり、
メインリモコンからお湯の温度調節ができます。



運転ランプが消える
(運転スイッチOFF)

運転ランプと
優先ランプが点灯
(運転スイッチON)

⚠警告 ●シャワー・給湯の使用中に優先を切替えない。お湯の温度が急変してやけどをするおそれがあります。

❗ご注意ください

- メインリモコンでは優先ランプが点灯していないときに給湯温度を設定しようとすると、「ピピピピ」と警告音が鳴って受け付けません。優先を切替えてから給湯温度を設定してください。
- 優先を切替えるときには他の場所で使われていないことを確認してから切替えてください。

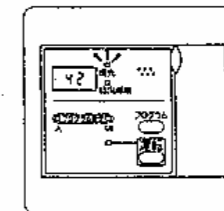


- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃以上だった場合には、自動的に55℃にセットし直されます。(単独使用時) ※マルチコントローラを使用している場合は、変更されません。
- やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 別売のサブリモコン(038-0208型)を設置している場合。
 - ・メインリモコンが優先のときは、サブリモコンにも優先があります。
 - ・サブリモコンとメインリモコンは連動しています。サブリモコンのスイッチをONにすると、メインリモコンとサブリモコンの両方に優先ランプが点灯し、メインリモコンでも給湯温度を調節できます。

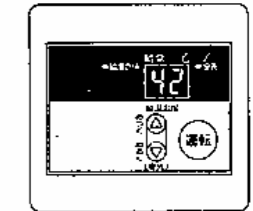
■給湯温度の調節
メインリモコン、防湿形サブリモコンでお湯の温度を調節します。

1 給湯温度を調節したいリモコンに優先ランプが点灯しているか確かめます。
優先ランプが点灯していないときには、P.13に従って点灯させてください。

優先ランプが点灯



〔メインリモコン〕



〔防湿形サブリモコン〕

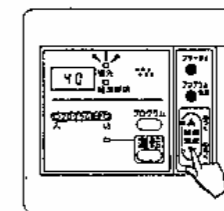
2 給湯温度スイッチで給湯温度を調節します。

- ▲スイッチを押すと温度が高くなります。
- ▼スイッチを押すと温度が低くなります。

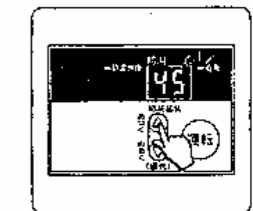
以下の16段階で設定できます。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---|--------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----------------------------|----|----|----|----|
| 標準 | → | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 50 | 55 | 60 | 70 | 75 |
| 高温対応 | → | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 50 | 55 | 60 | 65 | 70 | 75 | 80 |
| | | 食器洗いなど | シャワー・給湯など | | | | | | | | | | 混合水栓で使うときや お風呂へのあついたし湯など | | | | |

※上記のどちらかに設定できます。(目安の温度)
※給湯温度の高温対応の設定は、設置工事時に行います。設定は施工業者に確認してください。(メインリモコン取付け時)



〔メインリモコン〕



〔防湿形サブリモコン〕

- ❗お願い
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃以上には設定できません。60℃以上に設定しようとするとき「ピピピピ」と警告音が鳴って受け付けません。
 - 上記で60℃以上に設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。



- はじめてお使いのときは、給湯温度表示が42℃になります。
- 通常、給湯温度は運転スイッチをOFFにしても記憶されていますが、給湯温度を60℃以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。(単独使用時) ※マルチコントローラを使用している場合は、変更されません。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

プログラム運転を使う

■プログラム運転について

プログラム運転はメインリモコンを取付けている場合に使えます。毎日決まった時刻に自動で運転の「入」/「切」ができます。

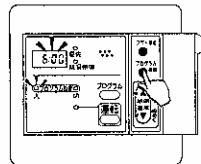
■プログラム時刻の合わせかた

まず、メインリモコンの現在時刻が合っているかを確認します。合っていない場合は合わせてください。(→P.11 参照) そのあとプログラム時刻を合わせます。

1 プログラム時刻スイッチを押します。

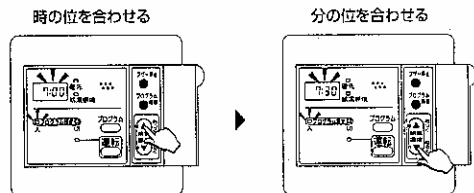
「入」の時刻が点滅し、プログラム入ランプが点滅します。

「入」時刻表示と
プログラム入ランプが点滅



2 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。

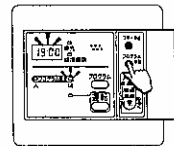


(例) 7:30に設定

3 プログラム時刻スイッチを押します。

「切」の時刻が点滅します。プログラム入ランプが消灯し、プログラム切ランプが点滅します。

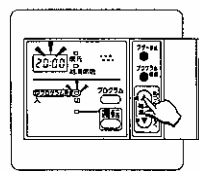
「切」時刻表示と
プログラム切ランプが点滅



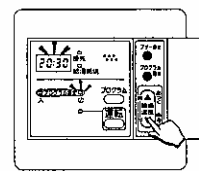
4 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。約10秒後、表示部が現在時刻表示、または給湯温度表示に戻り、プログラム切ランプが消灯します。

時の位を合わせる



分の位を合わせる



(例) 20:30に設定



- セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので、利用する時刻が決まっているときはプログラム時刻は毎日セットする必要はありません。
- ▲ ▼ ※ スイッチは押し続けると連続的に数字が変わります。

プログラム運転を使う

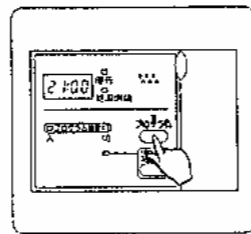
■プログラム運転のしかた

- メインリモコンの現在時刻・プログラム時刻を確認してください。
プログラム時刻の確認は、プログラム時刻スイッチのみを押して行ってください。1回押すごとに順次表示します。
- プログラム時刻の変更はP.15「プログラム時刻の合わせかた」を参照してください。

プログラム
運転を
セットする

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが点灯します。
プログラム運転がセットされた状態になります。

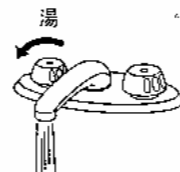
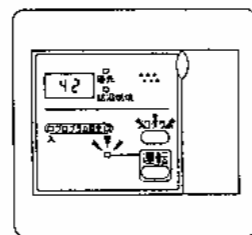


(図の時刻表示は現在時刻を表示しています)

「入」時刻になると

運転が「入」になり、
運転ランプが点灯します。
表示部が給湯温度表示になります。
給湯栓を開ければお湯が出ます。

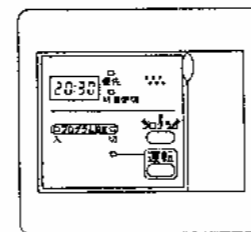
運転ランプが点灯



「切」時刻になると

運転が「切」になり、
運転ランプが消灯します。
メインリモコンでは表示部が
現在時刻表示になります。
防湿形サブリモコン・サブリモコンでは
給湯温度表示が消えます。

運転ランプが消灯



お願い

- プログラム運転中（プログラムスイッチ点灯中）でも、運転ランプ（メインリモコン）が消灯しているときは給湯栓を開けてもお湯は出ません。給湯を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
- プログラム運転をセットした後、停電や電源プラグを抜いたときは、セットが解除されます。電源復帰後、プログラムスイッチを押してセットし直してください。

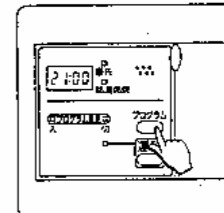
プログラム
運転を
解除する

運転の停止中に解除する

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが消灯し、
プログラム運転が解除された状態になります。

プログラムスイッチが消灯

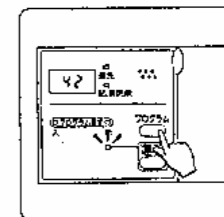


運転中に解除する

プログラムスイッチを押します。

プログラム運転は解除されますが、
通常運転になります。
プログラムスイッチは消灯し、
運転ランプは点灯したままです。

プログラムスイッチは消灯。
運転ランプは点灯したまま



プログラム
運転中に
停止する
には

プログラム運転中（プログラムランプ点灯中）に
運転を停止するときは、
運転スイッチを押します。

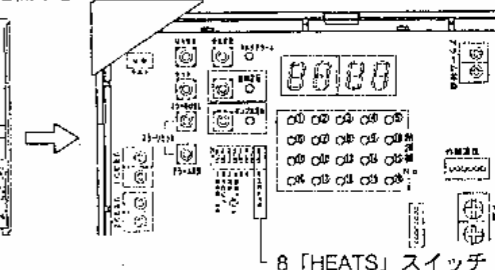
運転動作が変わり（運転→停止、停止→運転）もう1度押すともとに戻ります。
運転中は運転ランプが点灯し、停止中は消灯します。
プログラム運転の設定は解除されません。
（プログラムスイッチは点灯したままです）

循環回路制御について

■循環ポンプ制御について

マルチコントローラ（138-T400型）本体の8「HEATS」スイッチを切り替えることにより、循環ポンプ2台を負荷に応じた台数で、制御することができます。上記の設定を変更する場合には、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

フロントカバーを開ける



8「HEATS」スイッチ

●ご注意ください

- 設定変更を行う際は必ず、電源を切ってください。
- 上記の設定を変更する場合には、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。そのため外気温 -15°C 程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態しておけば、機器内の凍結は予防できます。凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

※マルチコントローラを使用し、循環回路を組んでいる場合は、気温が下がってくると自動的に循環ポンプが運転し、循環回路内を凍結予防できます。



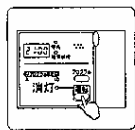
- お願い**
- 凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、ブレーカーを「切」にすると作動しませんのでご注意ください。
 - 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材で被覆してください。

寒波などで特に寒くなりそうなとき（外気温 -15°C 以下やそれ以上の気温でも風がある日）は、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

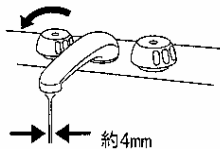
■給湯栓を開いて水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。



2 ガス栓を閉じます。



3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので念のため、約30分後にもう一度流量を確認してください。

- お願い**
- 次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

- ME**
- 給湯栓を開いて水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

凍結を予防するための操作について説明します。

■機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのまましておいてください。

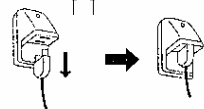
- △注意**
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- お願い**
- 機器の水を抜く方法では作業の間、ブレーカーを「切」にしないでください。

1 ガス栓 (1) を閉じます。



6 水抜き栓 (3) (4) (5) (6) を外して水が出ることを確認します。

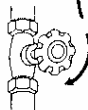
2 電源プラグ (7) を抜き、再度コンセントに差し込みます。



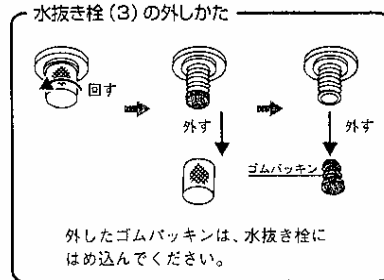
3 15秒ほど待ち、再び電源プラグ (7) を抜きます。



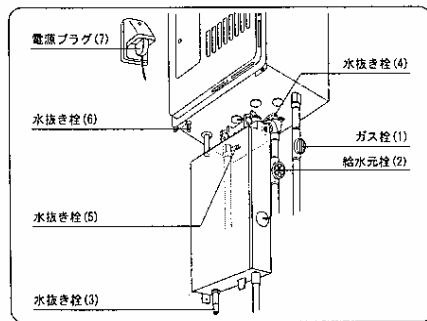
4 給水元栓 (2) を閉じます。



5 すべての給湯栓を全開にします。



・以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。



- △注意**
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。思わぬ事故の原因となります。（→P.24参照）

- お願い**
- 水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

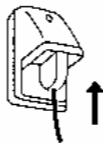
機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときには次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓 (3) (4) (5) (6) およびすべての給湯栓を閉じます。

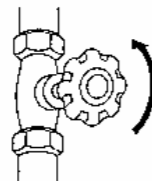
水抜き栓 (3) はゴムパッキンがはめ込まれていることを確認してください。 (→P.20参照)



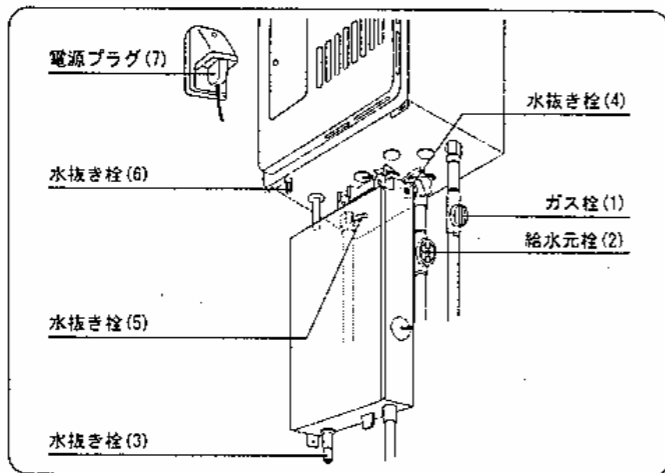
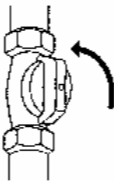
- 3 電源プラグ (7) をコンセントに差し込みます。



- 2 給水元栓 (2) を開けて、再度、すべての給湯栓を開けて水が出ることを確認します。(機器や配管より水漏れがないか確認してください)



- 4 ガス栓 (1) を開けます。



△注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。思わぬ事故の原因となります。(→P.24参照)

●お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

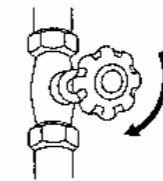
■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

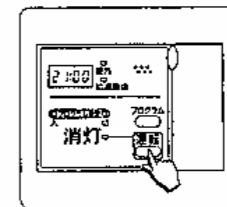
- 1 ガス栓 (1) を閉じます。



- 2 給水元栓 (2) を閉じます。(配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります)

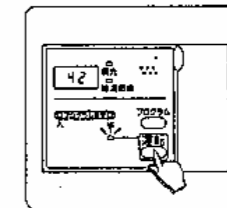


- 3 運転スイッチを「切」にします。



- 4 ときどき給水元栓 (2) と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。通水したら機器および配管より水漏れがないことを確認してください。ガス栓 (1) を開けます。

- 5 運転スイッチを「入」にします。



- お願い**
- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額な修理費用(有料)がかかる場合があります。
 - 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。
 - 機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理費用はお客様の負担となります。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント

次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりは雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはたかり、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか？
排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には排気口とその付近の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年2回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



⚠ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- メインリモコン、サブリモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、防湿形サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

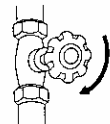
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

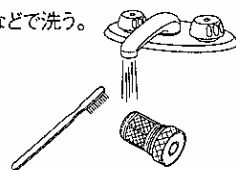
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に新築などの場合）

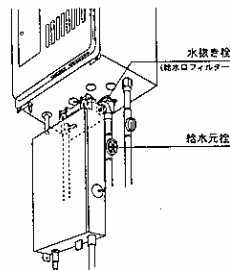
1 給水元栓を閉じる。



3 歯ブラシなどで洗う。



2 給水接続口にある水抜き栓を外す。



4 元のように取り付ける。

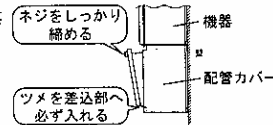
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。

故障かな?と思ったら

■お湯の出かた

| こんなとき | 故障ではありません |
|-------------------|---|
| 給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない | 最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。 |
| 夏などぬるいお湯が出ない | 給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。 |
| 冬などあついお湯が出ない | お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。 |
| 給湯栓を絞りすぎて水になった | 給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。 |
| お湯が白く濁って見える | 水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。 |

| こんなとき | ここを調べてください |
|-------------------|--|
| あついお湯が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ◎湯温調節は適切ですか? (P. 14) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) |
| ぬるいお湯が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ◎湯温調節は適切ですか? (P. 14) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24) ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11) |
| お湯が出ない (運転しない) | <ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P. 11) ◎停電していませんか? (P. 5) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24) ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12) ◎断水していませんか? (P. 22) ◎凍結していませんか? (P. 22) |

アそれでもわからないときは
アフターサービスをお申しつけください

■機器本体

| こんなとき | 故障ではありません |
|--|---|
| お湯を使っていないのに時々給湯器が燃焼する 循環ポンプが止まったり動いたりする | システム(複数台設置)で循環回路を組んだ場合、循環回路内のお湯の保温のため、実際にお湯を使わなくても給湯器が燃焼することがあります。また、循環パターンにより、循環ポンプがON-OFFします。外気温が低く機器内の凍結予防装置が作動すると、循環ポンプがONになります。(P. 19) |
| 寒い日に排気口から白い湯気が出る | 冬に吐く息が白いのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。この機器は特に熱効率が高いため、白煙が出やすくなっています。 |
| 出湯停止後も燃焼ファンの回転音がする | 再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。 |
| 給湯栓を閉じると、給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる | 給水側の水抜き栓は過圧逃し弁をかねています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。 |

| こんなとき | ここを調べてください |
|------------------------|--|
| 燃焼ランプが点灯しない (運転しない) | <ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11) ◎停電していませんか? (P. 5) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24) ◎給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12) ◎断水していませんか? (P. 22) ◎凍結していませんか? (P. 22) 上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。 |
| 燃焼ランプが点滅した | <ul style="list-style-type: none"> ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24) 上の3項目を確認して、*リセット操作をしてください。 |
| 使用中に消火した | <ul style="list-style-type: none"> ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎設定温度が低過ぎませんか? (P. 14) |
| 運転中に機器から異常音が聞こえる | 点検依頼してください。 |

アそれでもわからないときは
アフターサービスをお申しつけください

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■リモコン

こんなとき

故障ではありません

現在時刻が合っていない

約50分以上の停電があったときや、約50分以上電源プラグを抜いた後再通電すると時刻が1:00から進み始めます。再度、現在時刻を合わせてください。(メインリモコンを取付けている場合)

こんなとき

ここを調べてください

画面表示しない

◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)

リモコンの運転ランプが点灯しない

◎停電していませんか? (P. 5)

給湯燃焼ランプが点灯しない
(運転しない)

◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)
◎停電していませんか? (P. 5)
◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
◎給水フィルターが詰まっていますか? (P. 24)
◎給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12)
◎断水していませんか?
◎凍結していませんか? (P. 22)
上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。

リモコンのアラーム番号が表示されたとき

リモコンのアラーム番号を確認してください。(P. 28)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申しつけください

*リセット操作

運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

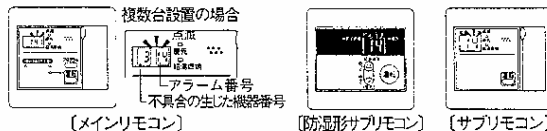
■こんな場合には安全装置が働きます。() はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒータが働き機器内の凍結を予防します。・・・凍結予防装置
- バーナーが正常に燃焼しないときに作動し、ガスを自動的に停止します。(121)・・・立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。・・・漏電安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721)・・・空だき安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(141)・・・過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に、圧力を外部に逃がして機器の破損を防止します。・・・過圧防止安全装置

■リモコンのアラーム番号が出たとき

- メインリモコンおよびサブリモコンは、アラーム番号の表示点滅と同時にアラームブザーが鳴ります。アラームブザーの解除はメインリモコンまたはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。(アラームブザーは解除しますが、アラーム番号の点滅表示は解除されません)防湿形サブリモコンは、アラーム番号の表示点滅のみでブザーは鳴りません。
- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。

例: 図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。



| 本体表示 | アラーム番号 | 原因 | 処置 |
|---------|----------------------------|----------------------------|--|
| 燃焼ランプ点滅 | 031 (03) | ガス種選択異常 | ガス栓が全開であることを確認後、リモコンの運転スイッチを「切」にし、5秒後運転スイッチを「入」にしてお使いください。 ↓ それでもアラーム番号が出るときは、修理を依頼してください。 *設置条件により、アラームの有り無しとなります。 |
| | 141 (14) | 温度制御異常のため | |
| | 701 (70) 711 (71) | 電姿基板の故障のため | |
| | 111 (11) 121 (12) | 火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため | |
| 燃焼ランプ点滅 | 311 (31) 321 (32) 331 (33) | 温度検出器の故障のため | |
| | 391 (39) 611 (61) 721 (72) | 燃焼系の故障のため | |
| | 510 (51) | ガス回路の故障のため | |
| | 631 (63) 641 (64) | 外部循環ポンプ故障(*) | |
| | 541 (54) 651 (65) 661 (66) | 水回路の故障のため | |
| | 441 (44) | 給水フィルター詰まり | |
| | 681 (68) | 外部ファンモーターOFF故障 | |
| | 741 (74) | メインリモコン通信異常 | |
| | 751 (75) | サブリモコン通信異常 | |
| | 761 (76) | 給湯器通信異常 | |
| | 101 (10) | 給排気の異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動した | 使用できますが十分な給湯能力が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください。 |
| 燃焼ランプ点滅 | 991 (99) | 燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動した | 機器を使用できません。電源プラグを抜かずガス栓、給水元栓を閉じて修理を依頼してください。 |
| | 921 (92) | 中和器交換の寿命または中和器の詰まりや異常のため | |

() は、防湿形サブリモコン、サブリモコン、マルチコントローラおよび複数台設置時のメインリモコンの表示です。マルチコントローラのアラーム番号の表示位置は、8ページをご覧ください。

- 「921 (92)」は中和器に関するアラームですので「921 (92)」が表示されましたら、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。中和器の交換寿命になるとまず「921 (92)」のアラーム点滅、およびブザーでお知らせいたします。それでもお気づきにならなかった場合は製品の能力は約1/3に落ち、しばらくすると機器は停止して使用できなくなります。中和器の交換寿命になりましたら早い時期に中和器の交換をお願い致します。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- P.25～P.28の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名:135-T960型

| |
|-----------------|
| (N)135-T960 |
| 大阪ガス株式会社 |
| 21-033-22-06787 |

 ガスの種類:13A
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、P.20を参照してください)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様

〔仕様表〕

| 項目 | 内容 | | |
|-----------------|----------------------------------|----------------------|-------------------|
| 品名 | 135-T960型 | | |
| 型式 | GS-320GW | | |
| 外形寸法(mm)/質量(kg) | 幅352×奥行300×高さ622/本体33, 中和器6 | | |
| 種類 | 給湯方式 | 先止め式 | |
| 設置 | 方式 | 屋外設置形 | |
| 点火 | 方式 | AC100V連続放電式(ダイレクト着火) | |
| 水圧 | 使用水圧 | 200kPa～500kPa | |
| | 最低作動水圧 | 10kPa | |
| 接続 | ガス | 20A(R3/4)オネジ | |
| | 給水 | 20A(R3/4)オネジ | |
| | 給湯 | 20A(R3/4)オネジ | |
| 排水 | 水(中和器) | 15A(R1/2)オネジ | |
| 電気関係 | 電源 | AC100V(50/60Hz) | |
| | 消費電力 | 定格 | 78W |
| | | 凍結予防時 | 192W |
| 電源コード | VCT(2心) 機外長2.0m | | |
| 安全装置 | ファン回転検出装置(燃焼ファン) | | 過熱防止装置(温度ヒューズ) |
| | 立消え安全装置(フレイムロッド) | | 漏電安全装置(漏電スイッチ) |
| | 過圧防止安全装置(スプリング式) | | 誘導電保護装置(サージアブソーバ) |
| | 空だき安全装置(バイメタル式) | | 凍結予防ヒータ(凍結予防装置) |
| | 空だき防止装置(水量センサ) | | |
| 付属品 | 信号コード・アース線・壁固定金具一式 | | |
| 別売品 | メインリモコン・サブリモコン・防湿形サブリモコン・リモコンコード | | |

〔能力表〕

| 使用ガス 使用ガスグループ | 1時間あたりのガス消費量 kW(kcal/h) | 出湯能力(最大時)(ℓ/min) | | ガス接続 |
|------------------|----------------------------|------------------|----------|-----------|
| | | 水温+25℃上昇 | 水温+40℃上昇 | |
| 都市ガス 13A | 62.2 {53, 500} | (33) | 20.6 | 20A(R3/4) |

- ◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
- ◎出湯能力は、水圧200kPaのときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。()内の数値は相当能力です。
※十分な出湯能力を出すためには、200kPa以上の水圧が必要です。
- ◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために